



式典で式辞を述べる岩浅市長。

## 阿南市合併5周年記念式典を挙げる

平成18年3月20日に阿南市が那賀川町、羽ノ浦町と合併して今年で5周年を迎えたことを記念して、阿南市合併5周年記念式典が、9月4日、文化会館夢ホールで執り行われました。

来賓および関係者約500人のご臨席をいただくなか開催された式典では、合併後の歩みを写真で振り返るスライドが上映されたほか、ボランティアを中心に公共の福祉に寄与され、特に合併以降における活動が顕著であった個人および団体の方々に感謝状が贈呈されました。

また、式典終了後に行われたアトラクションでは、阿波人形浄瑠璃の岡花座による「式三番叟」が上演されたほか、那賀川町の原獅子舞保存会による「原の獅子舞」や、羽ノ浦町のブルースターによる「コカリナ演奏」も披露され、節目となる合併5周年に花を添えていただきました。

式典は、当初、3月20日に予定していましたが、東日本大震災により延期していました。

感謝状を贈呈しました方々を、次のとおりご紹介します。

### ボランティア活動に対する感謝状贈呈者

【阿南第一中学校華道指導】  
稲村幸甫さん（下大野町）

【通学路の安全活動】

大村誠治さん（橘町）・三枝 明さん（羽ノ浦町）・中西紀代則さん（橘町）・松山浩武さん（羽ノ浦町）・芳川 正さん（橘町）・新野東小学校

地域安全パトロール隊（新野町）・答島21世紀会（津乃峰町）・ふれあいサロン長浜（津乃峰町）

【地域の防犯活動】

公方パトロール隊（那賀川町）・富岡地安会（領家町）・富岡防犯パトロール隊（日開野町）

【那賀川図書館美化活動】  
阿波公方の苑美化作業ボランティア（那賀川町）

【岩脇公園美化活動】  
岩脇公園を美しく志隊（羽ノ浦町）

【道の駅清掃活動】  
渡川治子さん（那賀川町）

【西部公園美化活動】

【障がい者支援活動】  
ウェーブ（那賀川町）

【読み聞かせ活動】  
おはなし「たんぽぽ」（橘町）

【人形劇出張公演】  
人形劇団プクプク（福村町）

【長生公民館美化活動】  
ゼラニウム（長生町）

【長生公民館生け花活動】  
花クラブ（長生町）

【特別事業に関する感謝状贈呈者】

【地域の安全確保のため土地の提供等による交通危険箇所の改善】  
橋本俊高さん（富岡町）

【地場産業の活性化、環境美化の他、多岐にわたる活動】  
吉野 恵さん（宝田町）

【蒲生田岬のモニメント創作により地域の観光と活性化に寄与】  
大津文昭さん（上中町）

【蒲生田岬のモニメントの題字を提供】  
吉原利明さん（宝田町）

【蒲生田岬を題材にした曲づくりにより岬の素晴らしさをアピール】  
藤本津佳さん（小松島市田浦町）

【阿南市ロゴマークの制作】  
塩崎榮一さん（大阪市生野区）

賞状贈呈

賞状贈呈

賞状贈呈

賞状贈呈

賞状贈呈

賞状贈呈

賞状贈呈

## 独大統領に阿南のLEDを紹介 阿南高専が独アイデア博で活躍

科学の面白さを体感させることを目的とするドイツの第3回アイデア博が8月27日に開幕し、阿南高専からLED手書き入力ディスプレイやLED射撃ゲームが披露され、好評を博しました。

開幕当日は、ウルフ独大統領夫妻が阿南高専の展示区画を訪れ、同校の小松校長、林田国際交流室長らが出迎えました。大統領は、同校電気電子工学科小松 実准教授の説明を受けて、LED手書き入力ディスプレイを操作し、大いに関心を持たれたようです。

今回の博覧会は、フォルクスワーゲン、ポツシュ、シーメンス等の有名企業を含めた大小160を超える展示区画に設けた約600の実験・実習コーナーに加え、コンサート会場やクレープ、ジュース等の飲食物の出店も並び、多くの若者や家族連れが訪れ大盛況でした。

9月4日までの会期中に30万人以上の来場者があり、阿南高専は閉幕まで出展を続け、同校の技術力の高さや高専の魅力をアピールしました。

（文・写真）阿南高専国際交流室提供



阿南高専の展示区画を訪れたウルフ大統領夫妻（中央）

先輩から受け継いだ伝統の音に 自分たちの思いを込め磨き上げた  
 ともにめざした全国の頂点  
 たくさんの思いと感謝の気持ちを弦に込め  
 忘れられない最後の夏を奏でる



## 忘れられない最後の夏を奏でる

阿南中学校箏曲部による第25回定期演奏会が、8月28日、文化会館夢ホールで開催され、約300人が伝統ある琴の音色を堪能しました。あてやかな浴衣姿で演奏会に臨んだ3年生の皆さん。仲間とともに駆け抜けた3年間の思い出と、お世話になった方への感謝の気持ちを弦に込めました。「箏と十七弦による三重奏曲」は、全国小・中学校コンクールで銀賞（2位）に輝いた曲。一糸乱れぬ息のあった演奏に、会場から大きな拍手が送られました。

## 台風12号の影響で 中央橋が一部崩壊 通行止めに

台風12号による河川の増水により、加茂町から深瀬町にかかる中央橋の中央部分が約20メートルにわたり崩壊。道路は寸断され、現在、通行止めに なっています。

9月4日午前3時ごろ、川の様子を見に行った時に発見したという岡本清宏さん（70歳・深瀬町）は、「この橋は、車に乗れないお年寄りが診療所へ通う道として利用しているほか、子どもたちの通学路にもなっています。深瀬町の住民にとっては欠かすことのできない道であり、一日も早く復旧してほしい。」と話していました。

中央橋は、木橋として昭和26年12月26日に開通。しかし、昭和27年7月の台風により流失した後、災害復旧工事が行われ、昭和30年3月に現在の潜水橋として再築されました。昭和52年5月に県道から市道に移管されるまで二度も流失するなど、河川増水による被害を幾度となく受けてきました。

市では、早期の復旧を検討しています。



「24年連続入賞という快挙にほっとしています。」と部長の細川遥香さん。「琴のことを考えない日はありませんでした。つらいことや苦しいこともありましたが、最後は笑顔で終わってよかったです。」と充実した表情で3年間を振り返っていました。

顧問の宮田和代先生は、「練習熱心で後輩の面倒見がいい3年生でした。銀賞受賞は、みんなの心が一つになれた証。部活動を通じて培われた協調性をこれからも大切に頑張ってほしいです。」とエールを贈っていました。

「来年は金賞をとってほしい」自分たちが成し得なかった夢を後輩に託した3年生。記念撮影に収まる笑顔は、箏曲部の伝統をつないだという充実感に満ちていました。

## サンアリーナ温水プールの利用者 40万人に到達



健康増進や水泳競技力の向上など子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方に親しまれているサンアリーナ温水プールの利用者が、開館から7年2カ月で40万人に到達し、8月23日に記念セレモニーが行われました。

記念すべき40万人目となった四宮恵美子さん（65歳・小松島市大林町）は、6年前から週2～3回程度プールに通っているといいます。「プールでは、友人との会話も楽しみの一つとなっています。泳いだ後の爽快感が何ともいえません。」と笑顔。四宮さんには、岩浅市長から花束と記念品が贈られました。